

2025年～シーズン

早くも近隣国で高病原性鳥インフルエンザ発生

韓国京畿道の地鶏農場で2025年～シーズン初の高病原性鳥インフルエンザ（H5N1亜型）が発生しました。

今後、朝鮮半島経由で渡り鳥の国内飛来も例年どおりあるため、今後、国内へ侵入するリスクが高まりました。



＜韓国での発生事例＞

発生年月日

2025年9月12日

発生場所

韓国京畿道坡州市

発生規模

地鶏農場 3, 100羽

ウイルス

高病原性H5N1亜型

- ◆日本国では9月1日以降、早期警戒期間と位置づけ、死亡野鳥等調調査を対応レベル3として監視強化しています。
 - ◆養鶏農場に対してはシーズン前一斉点検を実施中。自家用等飼養者に対しては10月に悉皆立入を計画しています。
 - ・高病原性鳥インフルエンザ予防対策状況を再点検願います。
 - ・今後の情勢に注視し、異常を認めた際は早期通報願います。
- なお、ご不明な点がありましたら以下にお問い合わせください。

京都府丹後家畜保健衛生所（〒629-2302 与謝郡与謝野町字下山田616）

TEL:0772-43-1125/FAX :0772-43-1124/Mail:tango-kaho@pref.kyoto.lg.jp